

# 決 算 報 告 書

第 4 期 事 業 年 度

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

国立大学法人東京学芸大学

平成19年度 決算報告書

国立大学法人東京学芸大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	9,113	9,455	342	(注1)
施設整備費補助金	1,494	1,494	0	
船舶建造費補助金	—	—	—	
施設整備資金貸付金償還時補助金	—	—	—	
補助金等収入	63	105	42	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	40	40	0	
自己収入	3,732	3,875	143	
授業料、入学料及び検定料収入	3,662	3,741	79	(注3)
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	70	134	64	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	445	479	34	(注5)
引当金取崩	12	0	△ 12	(注6)
長期借入金	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
承継剰余金	0	0	0	
旧法人承継積立金	—	—	—	
目的積立金取崩	122	261	139	(注7)
計	15,021	15,709	688	
支出				
業務費	10,064	10,164	100	
教育研究経費	10,064	10,164	100	(注8)
診療経費	—	—	—	
一般管理費	2,915	2,828	△ 87	(注9)
施設整備費	1,534	1,534	0	
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	63	105	42	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	445	477	32	(注11)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	15,021	15,108	87	
収入-支出	0	601	601	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった退職者に係る退職手当を計上したことにより、予算額に比して決算額が342百万円多額となっております。

(注2) 補助金等収入については、大学改革推進等補助金の預り補助金の受入れがあったことにより予算額に比して決算金額が42百万円多額となっております。

(注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、在籍者等の増加のため予算額に比して決算金額が79百万円多額となっております。

(注4) 雑収入については、主として科学研究費等補助金の間接経費の受入れ等により、予算金額に比して決算金額が64百万円多額となっております。

(注5) 予算段階では予定していなかった国、地方公共団体、民間等からの受託事業の獲得に努めたため、予算金額に比して34百万円決算金額が多額となっております。

(注6) 引当金取崩については、取崩しの必要がなかったため、予算金額に比して決算金額が12百万円少額となっております。

(注7) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった取崩の決定により、予算金額に比して決算金額が139百万円多額となっております。

(注8) 教育研究経費については、予算段階では予定していなかった退職者に係る退職手当を計上したことにより、予算金額に比して決算金額が100百万円多額となっております。

(注9) 一般管理費については、経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が87百万円少額となっております。

(注10) (注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が42百万円多額となっております。

(注11) (注5)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が32百万円多額となっております。